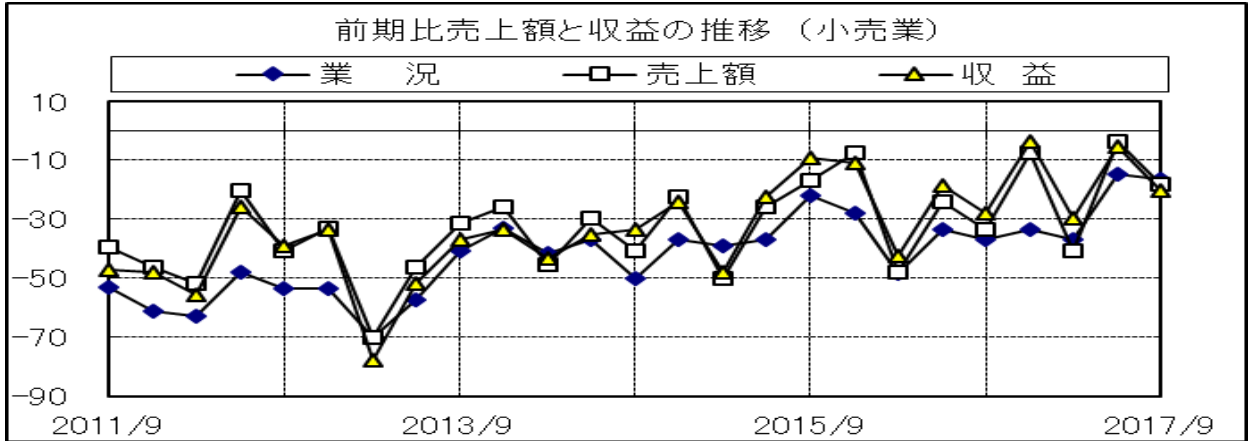


小 売 業 55 企 業 (回 答 率 100%) の 調 査 結 果 で す

□ 景 況

DI 値 の推移	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績
業 況	-37.0	-14.7	-16.4	-14.6
売上額	-40.7	-3.7	-18.3	1.9
収 益	-29.7	-5.5	-20.1	0.0

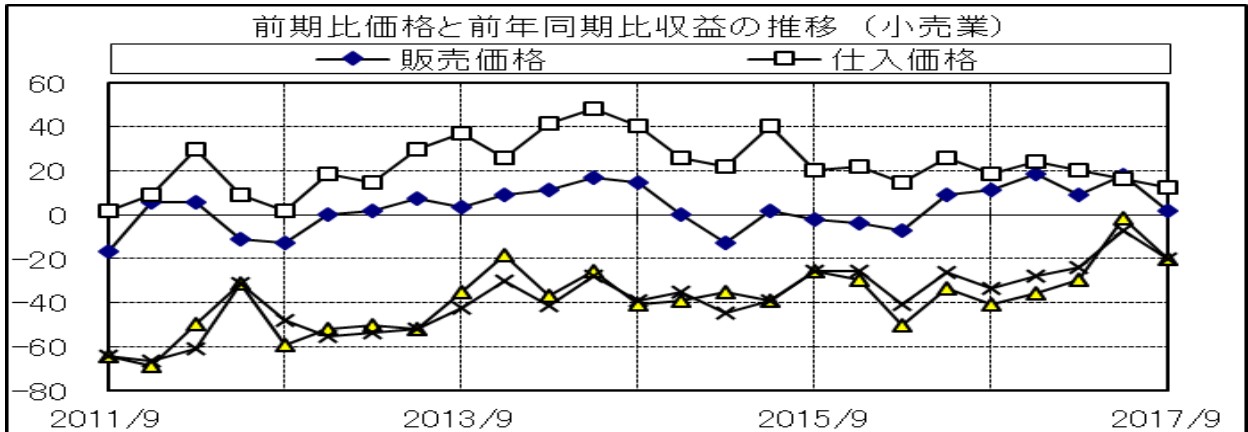
今期の業況判断D.I.は△16.4で、前期比1.7ポイント下降、前年(△37.0)比では20.6ポイント上昇した。地区別のD.I.は高い順に、静内、えりもが同率、次に様似、広尾が同率、三石と続き、浦河が最も低い水準となった。売上額判断D.I.は△18.3で、前期比14.6ポイント下降。収益判断D.I.は△20.1で、前期比14.6ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期見通し
販売価格	9.2	18.2	1.8	1.9
仕入価格	20.3	16.4	12.7	7.3

販売価格判断D.I.は1.8で前期比16.4ポイント下降、前年(11.1)比も9.3ポイント下降した。仕入価格判断D.I.は12.7で前期比3.7ポイント下降、前年(18.5)比も5.8ポイント下降した。業種別では食料品・家電品は販売・仕入価格ともに下降、衣料品は販売価格が下降、仕入価格は横ばいとなった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期見通し
残業時間	-16.7	-9.0	-9.2	-1.8
人手状況	-7.4	-25.5	-16.3	-21.8

残業時間判断D.I.は△9.2で、前期比0.2ポイント下降、残業時間が増加したとする企業割合は横ばいとなった。

人手過不足判断D.I.は△16.3で、前期比9.2ポイント上昇、人手不足感が弱まった。

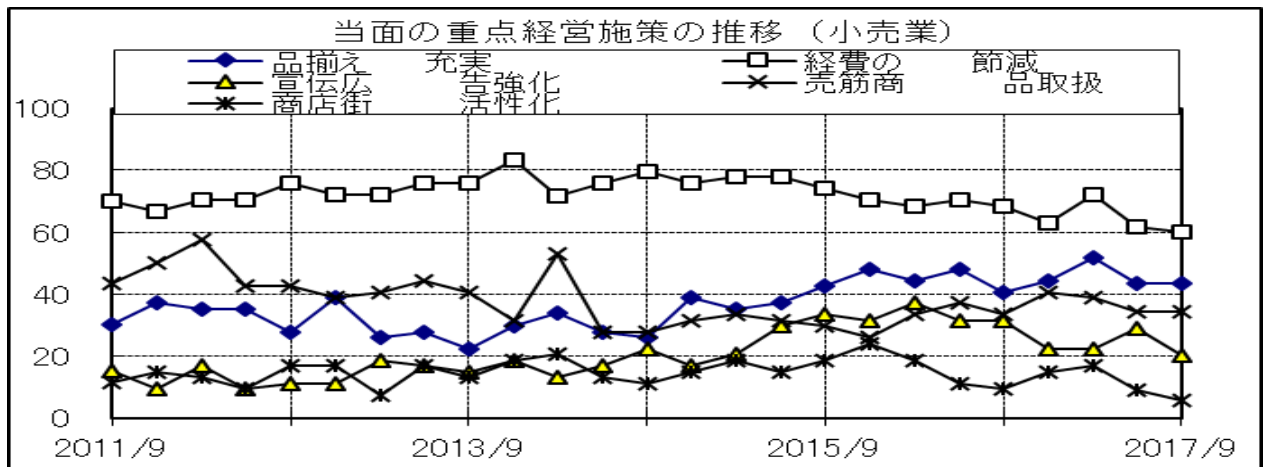
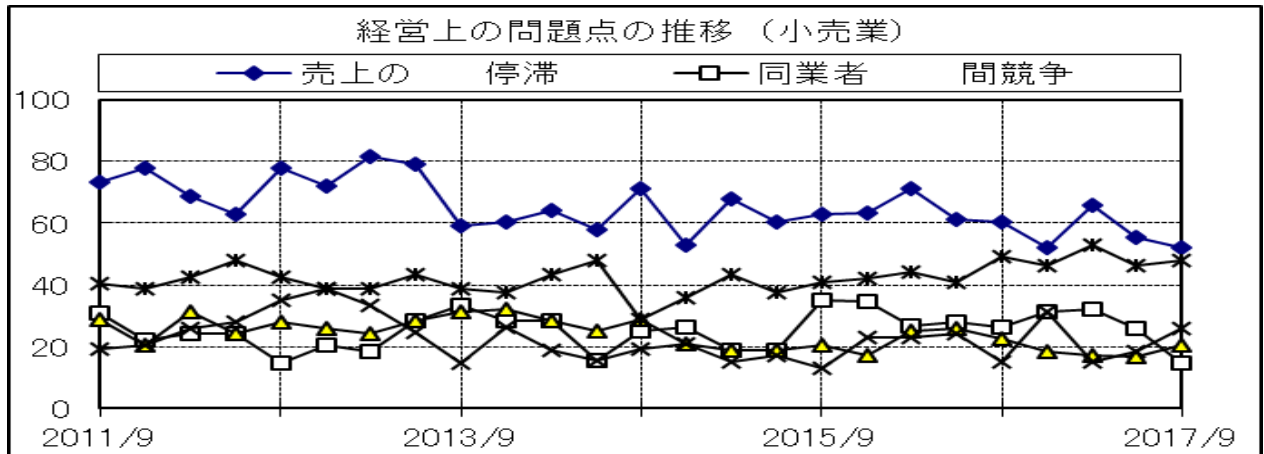
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD.I.は△18.2で、前期(△16.3)比で1.9ポイント下降した。

設備実施企業割合は9.1%で、前期(9.1)と同率となった。設備投資は、前期4社に対し、5社の実施となった。来期の設備投資の予定は5社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」51.9%、「商圈人口の減少」48.1%、「大型店との競合」25.9%、「利幅の縮小」20.4%、「取引先の減少」16.7%、「同業者との競合」14.8%、「地場産業の衰退」13.0%、「人手不足」11.1%と続いている。重点経営施策では、「経費の節減」60.0%、「品揃えを改善する」43.6%、「売れ筋商品取扱」34.5%、「宣伝広告を強化」20.0%と続いた。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は△14.6と、今期比1.8ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D.I.は1.9と、今期比20.2ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D.I.は0.0と、今期比20.1ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D.I.は1.9と、今期比0.1ポイントの上昇を見通している。

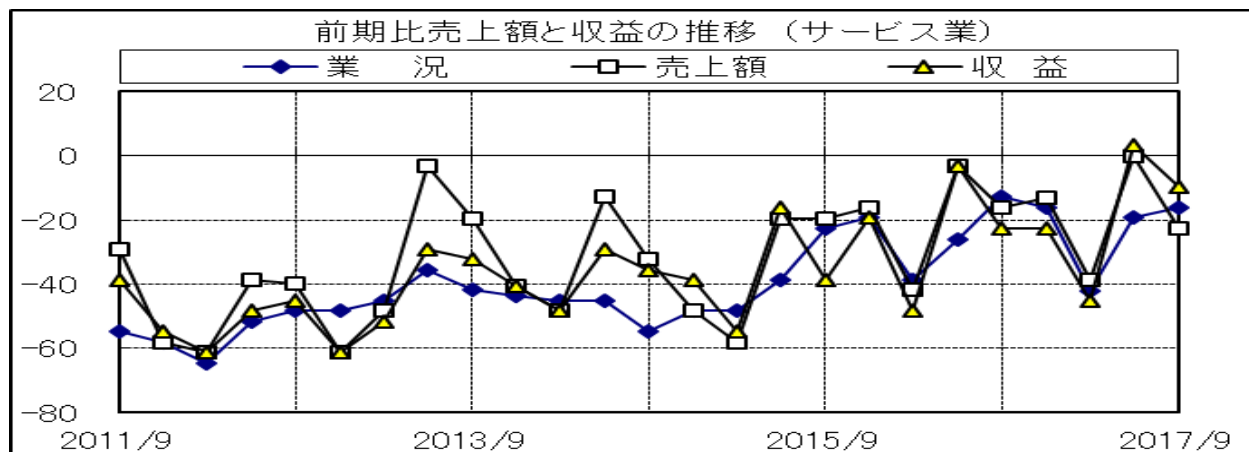
予想仕入価格判断D.I.は7.3と、今期比5.4ポイントの下降を見通している。

サービス業 31 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
業 況	-42.0	-19.3	-16.2	-25.9
売上額	-38.7	-0.1	-22.6	-3.3
収 益	-45.2	3.3	-9.7	-9.7

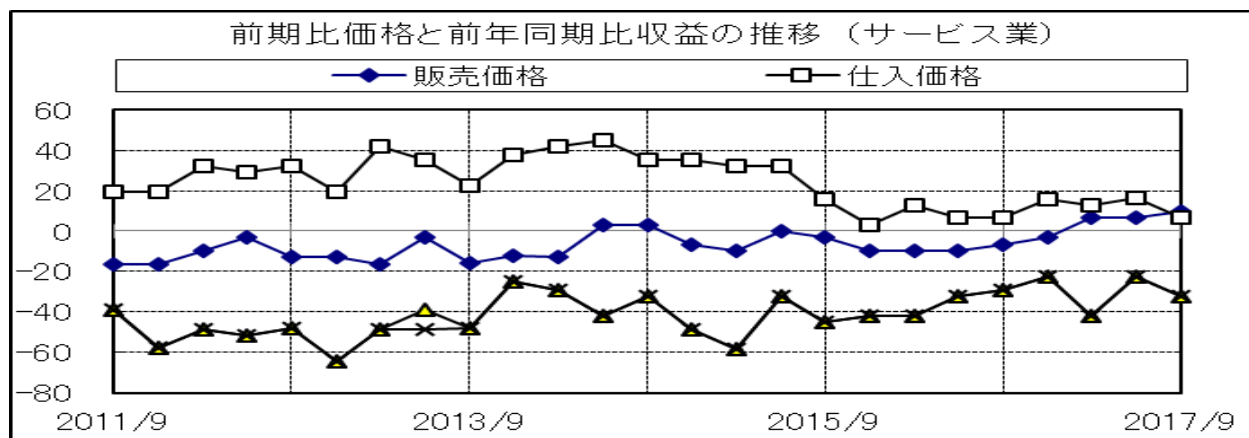
今期の業況判断 D. I. は△16.2 で、前期比 3.1 ポイント上昇、前年(△12.9)比で 3.3 ポイント下降した。地区別の D. I. は高い順に、静内、浦河、次に様似・広尾が同率で続き、三石・えりもが同率の順となった。売上額判断 D. I. は△22.6 で、前期比 22.5 ポイント下降した。収益判断 D. I. は△9.7 で、前期比 13.0 ポイント下降した。



□ 価格面の動きと前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
料金価格	6.5	6.5	9.7	6.5
材料価格	12.9	16.2	6.5	9.7

料金価格判断 D. I. は 9.7 で、前期比 3.2 ポイント上昇、前年(△6.5)比では 16.2 ポイント上昇した。材料価格判断 D. I. は 6.5 で、前期比 9.7 ポイント下降、前年(6.4)比では 0.1 ポイント上昇した。業種別にみると、料金では、自動車整備業が上昇、旅館業が下降した。材料は洗濯美容業、自動車整備業が下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
残業時間	-12.9	-12.9	-9.7	-3.2
人手状況	-12.9	-19.3	-19.3	-22.5

残業時間判断 D. I. は△9.7 で、前期比 3.2 ポイント上昇、残業時間が増加したとする企業割合が増加した。

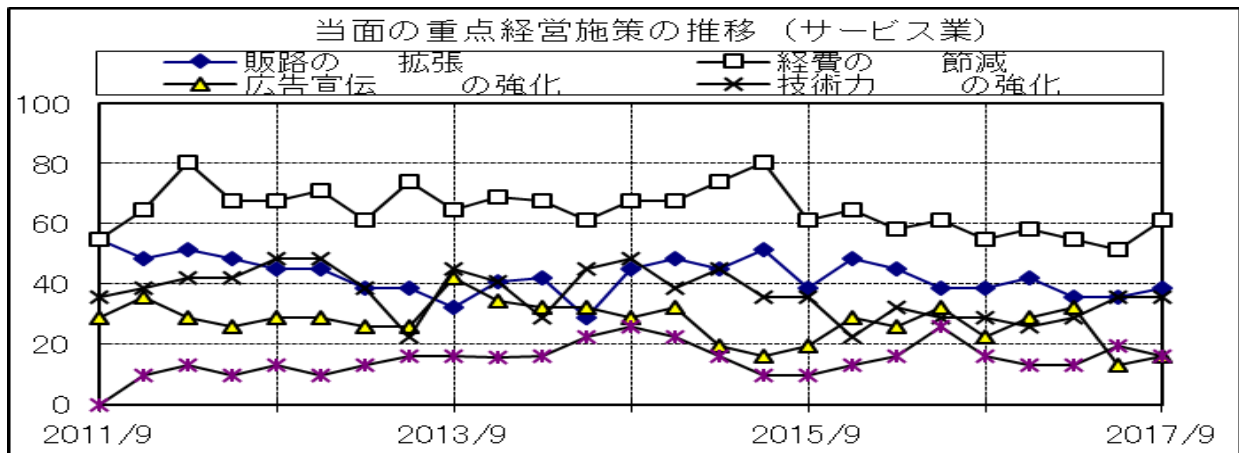
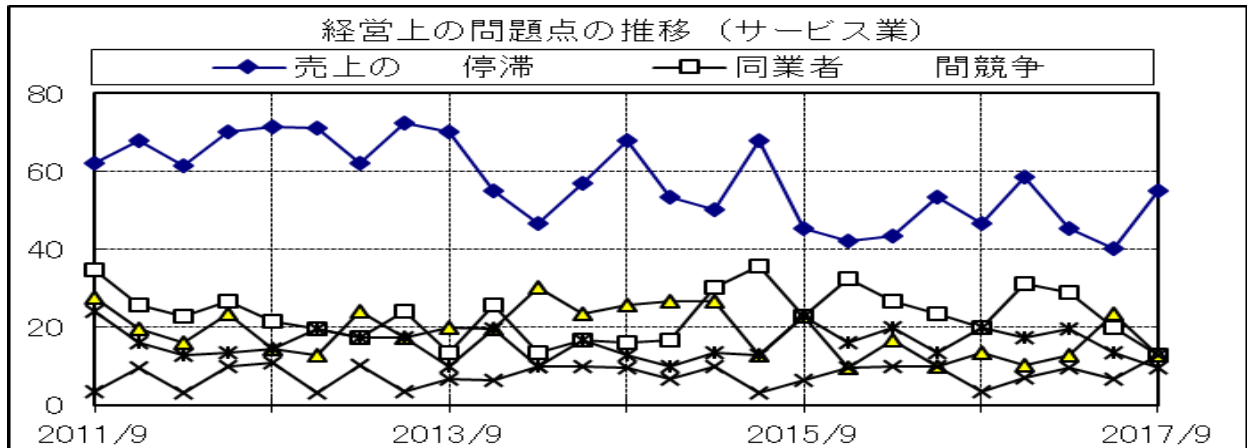
人手過不足判断 D. I. は△19.3 で、前期と同率で、人手不足感が続いている。

□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD.I.は $\Delta 6.5$ で、前期($\Delta 12.9$)比、6.4ポイント上昇した。
 設備投資実施企業割合は9.7で、前期(25.8)比、16.1ポイント下降した。設備投資は、前期8社の実施に対し、3社の実施となった。来期の設備投資は2社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」54.8%、「商圏人口の減少」48.4%、「店舗設備の老朽化」16.1%、「人手不足」・「同業者との競合」・「利幅の縮小」・「人件費の増加」・「技術力不足」・「取引先の減少」が同率の12.9%と続いている。重点経営施策では、「経費の節減」61.3%、「販路を広げる」38.7%、「技術力の強化」35.5%、「宣伝広告の強化」・「人材確保」が同率の16.1%と続いている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は $\Delta 25.9$ と、今期比9.7ポイントの下降を見通している。
 予想売上額判断D.I.は $\Delta 3.3$ と、今期比19.3ポイントの上昇を見通している。
 予想収益判断D.I.は $\Delta 9.7$ と、今期と同率の横這いを見通している。
 予想料金価格判断D.I.は6.5と、今期比3.2ポイントの下降を見通している。
 予想材料価格判断D.I.は9.7と、今期比3.2ポイントの上昇を見通している。